



2024年1月

「デジタルと社会をつなぐデザイン」研究会 第1回会合 ご案内

- ・主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター
- ・日時：2024年2月9日（金） 15:00-17:30
- ・場所：WeWork 日比谷 Fort Tower 内会議室（対面開催。アクセス情報等、詳細はお申し込みいただいた方にご連絡いたします）

<https://wework.co.jp/location/tokyo/ginza-shimbashi-area/hibiya-fort-tower>

- ・定員：27名
- ・主旨：

人間拡張、AI、ロボット等、新たなデジタル技術が登場し、データを活用した新たなサービス・事業開発に対する期待が広がっています。特にSDGsの履行やESG投資を始め、より社会を志向した事業への転換に対する、企業への社会的な要請が強まっており、デジタルを活用した社会志向型事業のデザインの重要性はますます高まっています。一方、社会志向型事業の受容性や生み出される社会価値の評価をどのように行っていくか、社会価値と事業価値（ビジネスとしての継続性）をいかに両立するか、あるいはデジタル技術を活用することに伴う負の影響（例えばプライバシー）への懸念にどう対応するか、といった新たなデザイン課題が顕在化してきており、こうした課題への対応が事業の成功には欠かせません。そういった背景のもと、世界に目を向けると、Systemic Design、Transition Design、Design for Sustainabilityなど、社会価値実現に向けたデザイン手法が生まれ始めています。しかし現状の事業環境においては、未だ旧来のビジネス慣習に基づく意思決定やそれに即したデザイン実践・事業開発が主流であり、社会価値実現に向けたデザイン・検証に必要な手法の習得や実践の機会（例えば市民参加に基づくデザイン）の創出、継続的な実践に向けたリソース配分が十分実施されているとは言えない状況です。

そこで、課題意識を共有する企業・研究者、並びに市民・生活者、自治体等をはじめ多様なステークホルダーが集まり、現状の課題や必要な取り組み（例えば、新たなデザイン手法・理論・リソースの共有・実践、普及展開等）の検討、コミュニティ構築を目的とした研究会を開催することといたしました。上記のテーマにご関心・課題意識をお持ちの皆様にご参加いただき、意見交換をさせていただければ幸いです。

（産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 渡辺健太郎、赤坂文弥、小島一浩）

・プログラム：

15:00-15:20 本研究会の狙い（産総研）

15:20-15:50 企業事例紹介1「社会実装に向けた行動変容デザイン（仮）」（大日本印刷株式会社 サービスデザイン・ラボ 松尾佳菜子）

15:50-16:20 企業事例紹介2「社会との協創における取組事例（仮）」（株式会社日立製作所 研究開発グループ デザインセンタ 平井千秋、原有希）

（小休憩）

16:30-17:20 ワークショップ「デジタルと社会をつなぐデザインの実践・普及に向けた現状」

17:20-17:30 Wrap-up・今後の予定（産総研）

※終了後、同会場にて簡単な懇親会を予定しております。

※内容は予告なく変更の可能性があります。

・お申し込み：

下記メールアドレスまでご連絡ください。会場サイズの都合でお申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

・お問い合わせ先：

「デジタルと社会をつなぐデザイン」研究会事務局

M-digi_desi-sec-ml@aist.go.jp